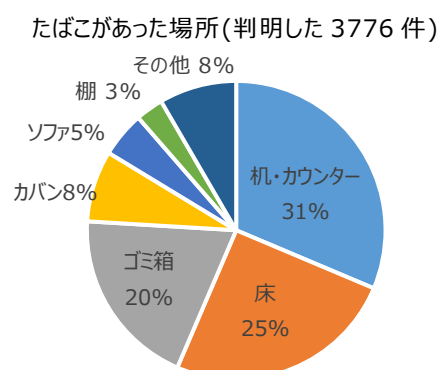
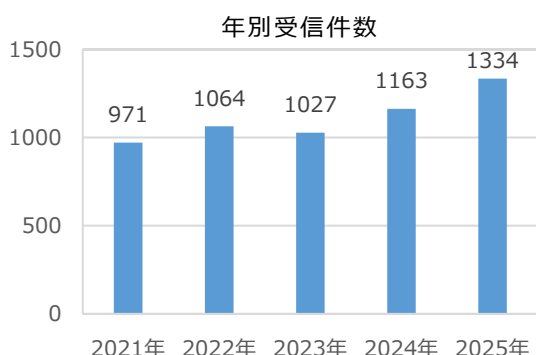


加熱式たばこの誤飲に注意しましょう！

加熱式たばこは、専用の器具でたばこの葉などを電氣的に加熱し、発生した蒸気を吸引する製品です。2014年の発売以降、中毒110番では加熱式たばこを誤飲したという相談が増加し、2025年は3歳以下の誤飲事故が1300件を超えました。

3歳以下の加熱式たばこ誤飲の相談件数（2021～2025年、n=5,559）



● 以下のような相談があります。

「加熱式たばこを喫煙後、器具にたばこを挿したまま放置していたところ、子どもがフィルターを食べた。」

「床に置かれたカバンから、加熱式たばこの箱を子どもが取り出し、葉の部分を食べた。」

「ゴミ箱に捨てていた使用後の加熱式たばこを子どもが取り出して、口に入れた。」

「飲み残しの缶ジュースに使用後の加熱式たばこを捨てていたところ、子どもが飲んだ。」

机の上やゴミ箱、カバンなどにあったたばこや床に落ちていたたばこを誤飲した例が多くありました。たばこの葉や浸出液(たばこを浸した液)を摂取した場合、ニコチンにより悪心、嘔吐、顔色不良などが出現する可能性があります。また、一部の製品には金属片(葉の芯の部分に内蔵されており、内側からたばこ葉を加熱する)が入っており、金属片を飲み込んだ場合、消化管内を傷つける可能性があります。中毒110番では、葉の部分をも1本以上食べた可能性がある場合や浸出液を飲んだ場合、金属片を飲み込んだ可能性がある場合は、受診を勧めています。

● 事故防止のため、以下の点に注意しましょう。

- ・たばこの箱は子どもの手の届かない場所に保管しましょう。
- ・使用後のたばこや器具はすぐに片付け、ゴミ箱に捨てる場合も、子どもの手の届かない場所にゴミ箱を置くなど子どもが誤飲しにくいように工夫をしましょう。
- ・飲料缶やペットボトルなどの飲料容器に、使用後のたばこを捨てないようにしましょう。

事故が発生し、医療機関を受診すべきか判断に迷った場合は中毒110番にご相談ください。

公益財団法人日本中毒情報センター 中毒110番電話サービス（一般向け 365日 24時間対応）

■ 大阪中毒110番 072-727-2499 ■ つくば中毒110番 029-852-9999

本資料を引用又は使用して資料作成・報道等を企図される場合は、必ず事前にその内容について日本中毒情報センター（本部事務局 電話：029-856-3566）の承諾を得、「公益財団法人 日本中毒情報センターの調査による」旨明記して下さい。